



敬友会ニュース

～第八回 パワーアップ研究発表会～



平成29年9月24日開催

『研究発表会』を今年も開催いたしました。岡山市北区のコンベックス岡山 国際会議場へ総勢185名が集まりました。

今年は6つの事業所の研究発表、特別講演会、懇親会、10年勤続表彰が開催されました。最後は研究発表の表彰式が行われました。

普段は所属事業所以外の職員と交流する機会が少なく、また法人全体が集まる機会はこのイベントだけのため、発表会後の懇親会も大いに盛り上がりました。

最優秀賞 グループホームひまわり



『食事を楽しむために』

筋緊張により食事量が低下していたご利用者様に対して、食事の際だけではなく臥床時のポジショニングの改善、継続的なマッサージという生活全体の見直しを実施。その結果、食事の摂取量の増加、嚥下能力の向上となりました。局所的な問題解消ではなく、生活全体からの見直しという点が好評価となりました。

優秀賞 敬友会訪問サービスセンター

『誤薬0を目指して』

事故報告書を分析し問題点を抽出し、教育の徹底と個別の対策を実施。結果として1件の誤薬事故は発生したものの、件数は激減した。今後も0件を目指して取り組みを継続実施。



南岡山ナーシングホームD棟

『在宅復帰に向けてチームアプローチ ～自律に向けての取り組み～』

介護老人保健施設において、ご利用者様の「自律」に向けてのリハビリプロセスを職員の「やりがい」と紐付け発表。チーム内の情報共有が今後の課題。

こうら荘

『介護予防・日常生活支援 総合事業「生き粋はつらつ教室」実施報告』

備前市（日生町）と連携して地域の特性を考慮し、ご利用者様の社会参加を支援。地域への周知（PR）が今後の課題

邑久ナーシングホーム通所リハビリ

『Y様の食事について』

嚥下能力が低下したご利用者様に対して「食器類」の見直し、「栄養改善」することで体重増加。今後は誤嚥性肺炎の予防と口腔機能の向上が目標

デイサービスセンター中庄

『失意のどん底からの脱出（全盲になったS様の変化）』

全盲となった後にデイサービスを利用開始されたご利用者様と職員の3年間の歩みを発表。今後ご利用者様の個々の能力に応じて支援を実施。

介護職のための接遇 ～よりよい人間関係づくりのために～



特別講演会は、社外講師の方に以下の内容で講演いただきました。

1. 接遇で大切なこと
 2. 接遇の基本は『幸せの四つ葉のクローバー』
 3. 人間関係をプラスからはじめる挨拶
- 会の最後には「サッ!ピタッ!ゆっくり♪」のリズムで参加者全員でお辞儀の振返りを行いました。

操山労務管理事務所 中谷 優子 氏 による特別講演会